

## 職員の「ワークライフバランス」について

新年度が始まりました。初心に帰って自分を見直す機会でもあります。

日本は超高齢社会のトップランナーですので、これからの介護事業が上手くいくかどうかは日本の浮沈、世界の浮沈にかかわる問題です。

今、日本政府のスローガンの一つに、介護離職ゼロがあります。

介護離職ゼロについては私達にとっては二つの意味があります。施設利用者のご家族が介護のために離職しないように私達が支援すると云うことと、私達自身が介護サービスという仕事から離職しないように工夫すると云うことです。

前者は介護サービスの本来の仕事に係わることでありますので云うまでもありませんが、今回は忘れがちな後者についても目を向けましょう。

この私達自身が離職しないようにするという事、これは言い方を換えると「職員のQOL」や「職員の幸せ」や「職員のワークライフバランス」ということでもあり、私たちの仕事を「やりがいのある仕事」にすることでもあります。これは、私達自身で出来ることですし、自分たちがしなければならないことです。

私達の仕事は「介護サービス」ですので相手があつてのお仕事です。言い方を換えれば相手の希望・仲間の希望に合わせる必要も有り「立てた予定は未定」、柔軟に臨機応変に「予定を変える勇気」が必要ということでもあります。相互調整も必要になります。

私達は施設の健全経営が必須であるとともに、職員各自の生活も大事にしなければなりません。各自の生活には多様な家庭の事情の違いがあります。各自の多様な生活も互いに許容し合つて互いに柔軟・臨機応変な対応が必要になります。

「お互い様」と相手を許容し合い「柔軟に予定を変える勇気を持って」お仕事に当たり、ある程度気楽にわがまを言い合える職場に致しましょう。

施設方針としても多様な勤務形態や個々人に合った柔軟な対応をして行き、互いに肩身の狭い職場にはならないようにしたいと思います。

職員の皆様も「お互い様の精神」で譲りあつたり迷惑を掛け合つたりということ、遠慮しないでやり合ひましょう。

### 老人保健施設一羊館の理念

利用者の方々すべてに尊厳・安心・満足を！

### 一羊館の行動指針

私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。

私たちは、利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の3立を目指します。

私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。

